

採点基準

共通原則

1 解答欄と解答記入について

- (1) 解答欄内に記入された解答だけを採点の対象とする。
- (2) 解答欄外にはみ出しているもの、解答欄外に書いてあるもの、解答欄をまちがえているものなどは不可とする。

2 記号等で解答する問題について

- (1) 記号、符号、番号等で解答する問題の場合、○や()などの有無は可とする。①→1、(A)→Aなど○
- (2) 英字の大文字の記号を小文字で解答しているもの、カタカナの記号をひらがなで解答しているものなどは不可とする。ただし、英字の書体の違いは可とする。
- (3) 複数の記号を選択して解答する問題の場合、指定以外の数の記号を書いているものは不可とする。
- (4) 記号ではなく、選択肢の内容で解答しているものは不可とする。また、記号と選択肢の内容を併記しているものも不可とする。

3 語句、用語で解答する問題について

- (1) 設問に特別の指定がない限り、漢字、ひらがな、カタカナ及びその混用のいずれも可とする。
- (2) 表記に誤りがあるものは不可とする。
- (3) 適語補充の問題で前後の語句と重複するものは不可とする。
- (4) 漢字とそのよみがなが併記してある場合、どちらかに明らかな誤りがあるものは不可とする。

4 文章で解答する問題について

- (1) 設問で求めているポイントをおさえていて、明らかな誤りが無いものは、表現上の巧拙は問わない。
- (2) 文章中の誤字は、文章全体の意味を大きく損なっていないければ、一字まで許容または減点とする。ただし指定された語句の許容はしない。

5 選択問題について

- (1) 生徒が記入またはマークした選択記号にもとづいて採点する。
- (2) 記入された選択記号と生徒の解答が矛盾する場合、選択記号を優先して採点する。
- (3) 選択記号の記入やマークがなく、選択問題が不明の場合は、解答の記入があっても採点しない。

国語

1 漢字の書き取り・読み

- (1) 画数が正しいこと…点が欠けているものや、横画の多い少ないなど、全体の画数が異なるものは不可。

(2) 形が正しいこと…偏や旁など、文字を形作る部分の形が正しく、大きさのバランスがとれていること。

(3) 画数が正しく、形が同じものであれば正解とする。

(4) 略字やくずした漢字は不可。

2 本文中より抜き出す解答

- (1) 誤字・脱字・その他本文と異なる部分があるものは不可。ただし、誤字については、書き取り問題のような厳密さは求めない。

3 記述解答

- (1) 解答例と同趣旨であれば可。文章全体の意味を大きく損なわない誤字や、送りがなの誤りなど部分的なミスは、一字まで許容する。二字以上×

4 作文採点について

「字数による条件」と「内容(指定条件など形式的なもの)での条件」によって基礎得点を決定し、そこから文脈・展開・構成・記述の誤りなどによって減点を行う。(採点基準については、各回の解説をご参照ください。また、採点基準は(株)大阪進研独自のものです。)

※誤字については、書き取り問題のような厳密さは求めない。

数学

1 数や式の表記の原則

- (1) 分数、小数いずれでも表せる場合は、どちらも可。
- (2) 分数は、帯分数($1\frac{2}{3}$)・仮分数($\frac{5}{3}$)のいずれも可。ただし、約分を既習した学年では約分していないもの($\frac{10}{6}$)は×
- (3) 数式の項の順序、項の中の文字の順序は問わない。

$$\cdot x^2+2x+1 \rightarrow 1+2x+x^2 \quad \circ$$

$$\cdot 3ax^2 \rightarrow 3x^2a \quad \circ$$

ただし、係数が前にないものは不可。3a→a3×

(4) 正の数の+の符号は、あってもなくても可。

$$\cdot 1 \rightarrow +1, +1 \rightarrow 1 \quad \text{いずれも } \circ$$

- (5) 解答欄内の式及び計算過程の記入は×
(=イコールつき, $\frac{2}{4} = \frac{1}{2}$, $\frac{10}{6}, \frac{5}{3}$ など)

2 証明問題

- (1) 内容が同趣旨であれば可。
- (2) 辺や角などの表現について
△ABC・△CBA、∠ABC・∠CBA、辺AB・辺BAなどいずれの表現でも可。

3 作図問題

- (1) 作図の過程が読み取れるものであること。
コンパスの線など作図の過程が示されていないものは不可。
- (2) 作図の過程が論理的に正しいこと。

英語

1 アルファベットの表記について

- (1) 大文字・小文字の誤りは不可。
- (2) スペルミスは不可。
- (3) アポストロフィがないものは不可。

・isn't→isnt × Nancy's pen→Nancys pen ×

(4) 1語を2語に分けて書いているもの、2語を1語にまとめて書いているものは不可。

・notebook→note book × ・every day→everyday ×

2 英作文について

- (1) 大文字・小文字の誤りは不可。
- (2) スペルミスは不可。(ただし、i・jの点の欠けは許容する。)
- (3) ピリオド「.」、[,]、「?」などの過不足は、1か所に限り許容または減点対象とする。
- (4) 条件付きの英作文で、語数指定や使用語句の指定など、条件を満たしていないものは不可。

3 適語(英単語)補充について

(1) 代名詞を固有名詞で答えているものは場合により許容。

・Yes, he is. →Yes, Bob is. など○

4 数字の記述

(1) 綴り指定の場合は算用数字は不可。指定がなければ算用数字でも可。

社会

1 用語記述問題…共通原則を参照。

(1) 特殊な読みの用語(熟字訓)の混じり書きについて
・「飛鳥(あすか)」「大和(やまと)」→全部漢字、全部ひらがなのみ○

(2) 国名・地名について

①通常表記と異なる漢字を使っているもの、誤字を含むものは不可。

・アメリカ合衆国→アメリカ○、アメリカ合州国×

・ロシア連邦→ロシア○、ロシア連法×

②国名を通称で解答した場合は原則として○

・アメリカ合衆国→米国、イギリス→英国など○

ただし、「米」「英」などは×。

(3) 誤字については、漢字の書き取り問題のような厳密さは求めない。

2 記述問題

- (1) 模範解答と同趣旨であれば可。
- (2) 設問の指示に従って書かれていること。

書き出しや使用を指定した語句など、条件を満たしていないものは不可。文字数を指定している場合、オーバーしたもののや著しく少ない解答は不可とする。

(3) 文章全体の意味を大きく損なわない誤字や、送りがなの誤りなど部分的なミスは、一字まで許容する。二字以上×

理科

1 数値や化学式での解答

(1) 数値での解答

①小数あるいは分数となる場合は、いずれでも可。分数の場合、帯分数・仮分数を問わないが、約分していないものは不可。また、有効数字にはこだわらない。

・0.50→0.5など○

②答えの単位を変えて答えているものは不可。

・0.5km→500mなど×

(2) 化学式・化学反応式・単位

①化学式のアルファベットの大文字・小文字の誤りは不可。

・HCl→HCL、HeIなど×

②化学式や単位の数字の位置の誤りは不可。

・H₂→H²、cm³→cm₃など×

③化学反応式の各項の順序は問わない。

・2H₂+O₂、O₂+2H₂など、いずれも○

2 用語記述問題…共通原則を参照。

(1) 物質名を答える問題は、化学式での解答は×

(2) 誤字については、漢字の書き取り問題のような厳密さは求めない。

3 記述問題

(1) 模範解答と同趣旨であれば可。

(2) 設問の指示に従って書かれていること。

文字数、書き出しや使用を指定した語句など、条件を満たしていないものは不可。

(3) 文章全体の意味を大きく損なわない誤字や、送りがなの誤りなど部分的なミスは、一字まで許容する。二字以上×

※弊社の採点は上記のような基準を原則としていますが、出題内容によっては原則と異なる採点基準になる場合があります。